



事業実績報告書

様式 2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-01	講座名	環境エネルギー塾
記載日		団体名・企業名	中部電力株式会社
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>2021年8月19日・9月2日、環境とエネルギーに関する講座を開催しました。</p> <p>カリキュラムは両日、講義・現場見学・グループワークをオンライン（Zoom）にて実施しました。</p> <p>①講義は、「電気事業について、気候変動に係る国内外の状況、そして中部電力グループの環境への取り組み」を説明</p> <p>②現場見学は、浜岡原子力発電所から「原子力発電の仕組みの解説や実務訓練の様子を中継」</p> <p>③グループワークは、「2050年脱炭素を国全体で達成するためには何が必要か」について議論</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
<p>左上：講義の様子（手前画面に受講者）</p> <p>右下：各グループをファシリテーターする社員の様子</p>		<p>浜岡原子力館の設備（模型）を用いて原子力発電所の仕組み説明をする様子</p>	
〈企画・運営者の声（感想）〉(350字程度)			
<p>本講座は従来、現場見学体験およびグループワーキングという、集合型で開催してきました。今年度は、コロナ感染状況が続いていても参加してもらえる企画を計画したいと考え、カリキュラム全てをオンライン化しました。</p> <p>オンライン化を企画するにあたっては、単なる受講で終わることのないよう、参加者ひとり一人が発信することで参加度合いが高まるような仕掛けをしました。またカリキュラム1つ1つ、限られた短い時間の中で、何を達成することができるか参加者目線を大切に実施しました。</p> <p>学生の皆さんの積極的な参加のおかげもあり、オンライン上でのみの関わりでしたが、学生間だけでなくファシリテーター役の社員とのコミュニケーションが豊かな講座となりました。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力エネルギーの将来展望や、同世代の方々との意見交換を通して、エネルギー業界に携わり未来の生活を支えていく仕事についての理解を深めることができました。 ・ 解決が難しい世界規模の問題に対して様々な角度から意見交換でき、とてもためになった。グループワークを通して自分では思い浮かばなかった意見を聞くことができ、考えの幅を広げることができた。 ・ 学生だけでなく、社員の方を交えたグループワークであったため、様々な意見を聞くことができ、カーボンニュートラルに関して再度考え直す良い機会となりました。 ・ 新型コロナウイルスの影響で実際に現場を見学したりする機会が減っているなか、ライブ中継により浜岡原子力発電所を見学し、貴重な体験ができたのでとても満足しています。 			